

現在開催中のプログラム



① 尹秀珍《ポータブル・シティー：弘前》2020 年



② 笹本晃《スピリッツの3乗》2020 年



③ 藤井光《建築 2020 年》2020 年

【開催中～9月22日（火・祝）】 2020 年開館記念春夏プログラム Thank You Memory —醸造から創造へ—

場所と建物の「記憶」をテーマに、れんが倉庫や弘前の歴史に新たな息吹を吹き込む国内外8人のアーティストによる新作を中心に紹介します。れんが倉庫の改修工事の記録に基づく作品や、弘前市民の協力により制作された作品など、この場所ならではの作品が、生まれ変わった空間で展開されます。



④ 奈良美智《SAKHALIN》2014-2018 年 ©Yoshitomo Nara

①弘前市民から提供してもらった100着におよぶ古着をもとに制作された弘前の街をモチーフにした作品／②旧れんが倉庫に残された建具や資材を取り入れた作品／③れんが倉庫の改修工事の過程を追った映像作品／④自身のルーツをたどる旅先での出会いを収めた写真作品

プログラムの見どころ／



学芸統括
石川 達紘さん

現在展示しているプログラムは、「醸造から創造へ」とサブタイトルにあるように、れんが倉庫が美術館として生まれ変わったということを表現しています。展示室を順に追うと流れがわかるようになっていて、初めは、ここに醸造の歴史があったということを表現する作品を展示しています。中に進むと、れんが倉庫や弘前の歴史、人物や風景に注目して、アーティストが弘前を訪れ、調査して作った作品を展示しています。最後は奈良美智さんや潘逸舟（ハン・イシュ）さんなど、弘前で育ったアーティストの作品を展示し、美術作品だけではなく、人も未来につながっていくということを表現しました。作品を通し、新たな弘前を発見していただきたいと思っています。美術館では、今後も地域の良さや弘前をテーマにした作品を作ったり収蔵することを大きなテーマとして、弘前の財産を蓄積していきたいと考えています。

こんな施設もあります

展示室とともに市民が利用できる貸しスタジオやライブラリーが併設されています。

スタジオA



3D プリンターやパソコンを備えていて、ワークショップや制作活動に適しています。

スタジオC



アンプやスピーカー、電子ドラムセット、ミキサーを備えていて、音楽活動に適しています。

スタジオB



スクリーン、プロジェクター、大型ミラーを備え、映像の上映やダンスなどに適しています。

市民ギャラリー



展示用壁面を備えていて、美術館主催の特別企画や市民による展示などが可能です。

ライブラリー



現代美術に関する本を自由に読んだり、市民の調査研究や学生の学習スペースとして利用できます。入場は無料です。

各施設の予約方法や利用料金など、詳しくは弘前れんが倉庫美術館のホームページ（<https://www.hirosaki-moca.jp/>）で確認するか、お問い合わせください。

アート鑑賞後にちょっと一休み…



カフェ・ショップ棟

▼営業時間 午前9時～午後10時

▼定休日 火曜日（祝日の場合は翌日が休み）、年末年始

来館者の声

ずいぶん心地よい空間になっていて驚きました。限られた条件の中でも、もともとの建物を活かしながら建築家の個性を発揮していると感じます。懐かしくて新しく不思議な空間。来てみないとわからない魅力がある美術館だと思います。



今さん夫妻

実は展示作品中に自身の肖像画があった今さん。「感激しました！」と話していました。

～施設概要～

▼ところ 吉野町2の1

▼開館時間 午前9時～午後5時（入館は午後4時30分まで）

※金・土曜日は、各スタジオ、市民ギャラリー、ライブラリーは午後9時まで。

▼観覧料 一般1,300円（1,200円）、大学生・専門学校生1,000円（900円）

※観覧料は展覧会によって異なります／（ ）内は20人以上の団体料金／高校生以下、市内の外国人留学生、障がい者と付き添いの人1人、65歳以上の市民、ひろさき多子家族応援パスポートを持参の人は無料。住所や年齢を確認できるものの提示を。

▼休館日 火曜日（祝日の場合は翌日が休み）、年末年始

※駐車場は思いやり駐車場2台のみです。車での来館は近隣の民間有料駐車場をご利用ください。

■問い合わせ先 弘前れんが倉庫美術館（☎32-8950）